

院外処方せんを発行します

市立病院では患者さんの要望に応え、医薬分業を推進するという厚生省の方針を受け、利便性と効率的な病院運営を図ることを目的に、五月一日(土)から「院外処方せん」を発行することになりました。

外来患者への薬は全て院内においてお渡ししていましたが、五月一日からは、院外処方方が好ましいものについて順次「院外処方せん」を発行していきます。

医薬分業って
どんなこと?

医薬分業とは、病気になって医師の診察を受けたとき、病院などで薬を調剤して患者さんにお渡しする代わりに、医師は「院外処方せん」を書いて患者さんにお渡しします。それを保険薬局へもっていき薬を調剤してもらいます。

このように、病院などの医師は診療に専念し、薬は保険薬局の薬剤師が調剤する制度を医薬分業といえます。

院外処方せんの利点は?

- ▼直接またはファックスの利用により、住まいや職場の近くの保険薬局で、都合のよいときに薬を受け取ることができます。
 - ▼このことにより院内の待ち時間が短縮されます(「院外処方せん」は、厚生省の定めで、交付を受けた日から4日以内に保険薬局に提出することになっています)。
 - ▼患者さんが寝たきりだったり、歩行困難などの場合や、看護者が薬局の営業時間内に出向けない場合には、ご自宅まで薬を配達してもらえます。
 - ▼都合のよい信頼できる薬局を自由に選択できます。
 - ▼医師と薬剤師により、別の立場から処方内容をチェックされるので、薬に対する安心感が増します。
 - ▼薬歴管理により、複数の病院などからもらった薬の重複や市販薬との飲み合わせによる相互作用のチェックが受けられます。
 - ▼薬についての情報や服用方法、注意事項などについて十分な説明を受けることができます。
- ※ただし、自己負担が増える場合もあります(老人医療の対象者は変わりません)。

処方せんをもらったたら?

薬局はあなたが自由に選べます



どこの薬局でも、あなたがお好きな薬局を選んでください。「保険薬局」や「処方せん受付」などの表示があれば、より安心!

薬のことは気楽に
薬剤師に相談しましょう



薬局には薬剤師がいます。薬のことでわからないこと、気になることがあれば何でも相談してください。

薬局ではあなたの
薬歴カードを作ります



薬の名前や薬によるアレルギーなどを記録したものを薬歴カードといえます。ほかの病院や医院から処方された薬や大衆薬との飲み合わせのチェックなどに不可欠です。

「かかりつけ薬局」を持ちましょう



あなたが気楽に相談できる「かかりつけ薬局」を決めると安心です

医薬品を適正に使用するための制度である医薬分業を推進することにより、市立病院はより質の高い医療の向上に努めます。

市民の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。

One Point Cooking
食生活ひとちメモ 21

豆腐の変わりハンバーグ

エネルギー 164kcal
たんぱく質 14.2g
カルシウム 283mg



花は咲き、鳥も唄い、すべての生命の躍動する季節を迎えました。私たち食生活改善推進員は、今年度も皆さんが健康で明るい生活を送れることができますようお手伝いしたいと思います。

今月は、健康食の一例として「豆腐の変わりハンバーグ」をご紹介します。低カロリーで消化もよく、カルシウムたっぷり子どもからお年寄りまで喜ばれる一品です。どうぞお試しください。

【材料】
木綿豆腐 500グラム 1丁、シラス干し 20グラム、桜エビ50グラム、青ジソ 20枚、カタクリ粉 大さじ2、小麦粉 30グラム、油 適宜、大根(おろし) 適宜

【作り方】
1 豆腐はペーパータオルで軽く水をきり手でつぶしておく。
2 1にシラス干しと桜エビ、せん切りした青ジソ、片栗粉を加えてよく混ぜる。
3 フライパンを熱して油を少量入れ、2を8等分してハンバーグ風に形を整えて表面に小麦粉をつけ、両面を焼く。
4 大根おろしを3にそえる。

都留市食生活改善推進員会 谷村支部